

関西学生就職指導研究会 2025 年度第 3 回役員会議事（要旨）

日時：2025 年 10 月 31 日（金）13：00～14：00

場所：アクセス梅田フォーラム（大阪富国生命ビル 12 階）

出席役員：13 名（敬称略）

渡辺、木村、山形、野田、伊藤、鐘ヶ江、中西、島本、加藤、中西（善）、中野
坪田、松永

欠席役員：1 名（敬称略）

横山

（1）本日の出版懇話会について

実行委員長より参加者数、段取りや目的の説明が行われた。

出版懇話会は従来の対立的な構造から協調的な対話形式へと転換させる重要な試みとして位置づけられており、本年度の懇話会の主要な変更点および運営方針が以下の通り確認された。

- ・ 形式の変更：従来の対峙形式を改め、大学側と企業側の参加者が混在する 4 つのグループ（A, B, C, D）に分かれ、意見交換を行う形式へ移行する。
- ・ 運営体制：各テーブルに、進行役と記録役をそれぞれ 1 名ずつ配置する。
- ・ 成果物：記録役は、議論の要点を A4 用紙 1 枚程度の箇条書き（Word 形式）にまとめ、後日事務局へ提出する。
- ・ 進行：全体で 2 時間半を予定しており、グループ討議の後、各グループから 5 分程度の発表時間を設ける。

運営上の段取りとして、本役員会終了後に会場のテーブルをグループ形式に再配置し、参加者を迎える流れが確認された。

（2）12 月 3 日冬季研修会について

冬季研修会実行委員長より、進捗状況の報告があった。

- ・ 企業参加：申込社数が 54 社であり、昨年の実績である 80 社を大きく下回っている。追加の募集活動が急務である。
- ・ 大学会員参加：申込が 24 校に留まっている。確定した参加企業リストを提示することで、大学側の申込促進を図る計画である。

また、プログラム内容に関して、以下の事項が決定・確認された。

- ・ 基調講演：日経 BP の元記事執筆者を講師として招聘し、「低学年からのキャリア教育」をテーマに講演を依頼済みである。正式な講演タイトルは 11 月 4 日までに確定する予定。
- ・ 名刺交換会：懇親会の前に、全参加者が 1 分で効率的に名刺交換を行う時間を設ける。
- ・ 会場追加：名刺交換会の実施に伴い、追加で部屋を確保した。これにより 12 万 6,000 円

の追加費用が発生するが、研修会予算（123 万円）の範囲内で吸収可能であることが確認された。

（３）就職率調査結果

実行委員長より、調査結果報告が行われた。

本報告は、10 月 1 日時点での内定状況に関する調査結果を共有し、加盟大学が自学の状況を客観的に比較・分析するための基礎データを提供することを目的とする。

報告された主要な調査結果は以下の通り。

- ・ 回答校数：42 校
- ・ 大学の内定率：66.5%（実就職率の算出方法では 63.0%）
- ・ 短期大学の内定率：48.7%（実就職率の算出方法では 37.6%）

報告者からは「就職ナビ会社が発表する数値とは乖離があるものの、実態に近い数値が出ているのではないか」との所感が述べられた。出席者からは特に異論はなく、報告内容は了承された。

（４）継続審議中の会員校メリットについて 9 月 22 日臨時役員会報告

臨時役員会で結論が出た「2025 年度着手事項」として、以下の 2 点が確認・評価された。

- ・ 会員間の連携強化：企業の接点増加および大学間の成功・失敗事例の共有機会を創出する。具体策として、当期研修会の企画・運営にこの方針を反映させる。
- ・ オンラインツールの整備：上記の連携強化を実効的に支えるため、遠方の会員も参加しやすいよう、メーリングリストや目安箱等のオンライン情報共有ツールを整備する。これは、今年度のホームページ改修プロジェクトの一環として検討を進める。

（５）HP 改修プロジェクトについて

現状のウェブサイトは、技術的な脆弱性、運用面の属人化、そして機能的な不足という複合的な課題を抱えており、組織のデジタル基盤として抜本的な見直しが急務であることが確認された。

予算と業者選定の状況は以下の通り。

- ・ 予算：100 万円
- ・ 課題：大手のウェブ制作会社からは、予算を大幅に超える見積もり（例：1,000 万円）が提示されている。
- ・ 現在、小規模な事業者である「まなれば社」から予算内で対応可能な提案を受けている。しかし、比較検討のため、相見積もりを取得すべく他の候補業者を探している状況である。

（６）次回役員会日程について

12 月 3 日（金）開催予定